



1. 当会第8代理事長に若林紀男氏が就任

2022年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、去る11月28日に当財団理事長の齋藤直美が急逝し、同日をもって退任いたしました。理事長在任中に賜りました皆様からのご厚情に厚く御礼申し上げます。後任の理事長（代表理事）には、12月17日の理事会におきまして、理事 若林紀男氏（第2660地区 大阪東RC）が選任されました。

< PROFILE > 若林 紀男（わかばやし のりお）

1982年大阪東RC入会。2003-04年度国際ロータリー（RI）第2660地区ガバナー。2010年RI規定審議会代表議員、2017-18年度RI第3ゾーンロータリー・コーディネーターなどを歴任。当財団においては、2002-04評議員、07-10学務・学友委員（09-10同委員長）、12-14評議員（公益法人移行後）、14-16常務理事、16-20副理事長、20-21監事、21-理事（組織活性化担当）を経て、2021年12月第8代理事長に就任。



このたび、故・齋藤直美前理事長の後任として、図らずも理事長職を拝命いたしました。前理事長の思いを受け継ぎ、事業創設70年の歴史と累計2万人以上の米山学友を有するロータリー米山記念奨学事業のさらなる発展を目指し、情熱を持って精一杯努める所存です。

当事業は「支援」と「人財育成」が両輪であると考えます。巣立った学友の活躍を知り、“人財”が多く育っているという実感そのものが、さらなる“支援”への後押しとなります。奨学生時代だけでなく、奨学期間が終わったあとも彼らとのパイプを太くし、学友の活躍を共有し、一人でも多くの方々にこの奨学金制度の意義を実感していただけたらと存じます。どうか皆様の温かいご厚志、奨学生へのご指導・ご支援を、よろしくお願い申し上げます。

2. 寄付金速報 — 下期普通寄付のお願い —

12月までの寄付金は前年同期と比べて2.0%減（普通寄付金:1.8%減、特別寄付金:2.1%減）、約1,700万円の減少となりました。しかし、12月単月の特別寄付金については前年よりも500万円増となっており、皆さまからのご寄付に感謝申し上げます。また、「2021年度下期普通寄

付金のお願い」を当会から直接各クラブへお送りいたしました（メールアドレス登録のないクラブはガバナー事務所経由）。年初からコロナ禍でのお願いとなり、大変恐縮ではございますが、今後ともご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



学友からの高額寄付



張忠信さん（台湾／1961-65／東京日本橋RC）から100万円の個人寄付

「米山奨学金をいただいたお陰で今まで自分のやりたいことができた」とのこと。今年90歳となる張さんは東京大学大学院博士課程卒、指導教官は建築家の故・丹下健三氏でした。



千葉 鴻儀さん（中国／1990-91／熊本グリーンRC）から200万円の法人寄付

「小生が起業した会社から寄付させていただきます。少額で申し訳ありませんが、多少の恩返しになれば…」とのこと。廃プラスチック・金属リサイクルにより地球資源を守る会社を営まされています。

3. 台湾米山学友会総会 — 新理事長が決定 —

2021年12月4日、台湾米山学友会の年次大会が台北市内で開催され、同時にYouTubeでもライブ配信されました。毎年、日本をはじめ海外からの参加者が多い同大会ですが、今回も新型コロナウイルスの影響を受け、台湾在住学友とロータリアン、そして、同学友会が支援する日本人奨学生らが集まりました。

会の冒頭で、11月に亡くなった当会齋藤直美前理事長への哀悼の意を示し、全員で1分間の黙祷が捧げられました。続いて、山崎淳一副理事長と柚木裕子事務局長、韓国・台湾・関西・タイなどからのビデオメッセージ、2023年に予定されている「再会 in 関東」の案内が上映されました。

同学友会では、台湾で学ぶ日本人留学生への奨学支援を長年続けており、今年度の奨学生が流暢な中国語で感

謝のスピーチをしたほか、元奨学生も大会に参加して、久しぶりの交流を楽しみました。奨学事業へ貢献している一人、蔡衍榮氏（台北仁愛RC会員）は挨拶のなかで、「ワクチンが不足していた台湾へ手を差し伸べてくれた日本への感謝を込め、来年は3人分の奨学金を寄付する」と、力強く述べました。

今回は役員改選の年にあたり、投票の結果、第9代理事長に林志昇さん（1992-94/津RC 現在：台北南區RC会員）が選出されました。



4. 次期地区米山奨学委員長セミナー開催報告

2022-23年度地区米山記念奨学委員長の第1回セミナーを12月10日、感染対策を徹底した都内会場とZoom併用で開催しました。会場参加は18名、オンライン参加15名で、午前10時半から午後4時までの盛りだくさんの研修となりました。

午前の初任者研修では、水野 功副理事長からの挨拶、事務局からの各種説明に続き、事例発表として、第



2660地区（大阪府）の坂田妙子次期米山奨学委員長から、地区の学友会と連携した独自のメンター制度等について、実際の映像を交えてご報告いただきました。

午後の合同研修では、常務理事会の付託で設けられた学友会関連検討小委員会委員長の滝澤功治常務理事から、小委員会でもとめた国内/海外米山学友会モデル会則案と学友会規程案の骨子が説明されました。その後、5グループに分かれて「理解促進から寄付増進へ」「選考について」「奨学生育成から学友会」をテーマにディスカッションと各グループからの報告が行われ、質疑応答を経て、山本博史選考・学務委員長の講評で締めくくられました。



昨年1年間（1～12月）に特別寄付をしたすべての方、もしくは普通寄付金の領収証を申請したクラブには、1月末日までに（確定申告に間に合うように）、認定証の写しが付いた申告用領収証をロータリークラブ宛に送付します。